

# 富山市民が、熱くなれる場をつくりたい！

9月から新たなプロバスケットボールリーグ「Bリーグ」が始まりました。そこで今回は、「富山グラウジーズ」(ホームアリーナ：富山市総合体育館)に所属する2人の選手に、富山についてお話を聞きしました。

## おふたりから見た富山とは？

**城宝** 富山に来た5年前は、すごく雪が降った年でした。出身地の北海道ほどではありませんでしたが、こんなに雪の降る地域だと思っていなかったので驚きました。でも、暮らしてみると、山も海もあって自然が豊かでいいなと思うようになりました。実際に岩瀬浜によく行きますし、この前は立山山麓でパーベキューをしました。山と海の距離が近い地域は、全国でも珍しいですよ。

**水戸** 大学時代は大阪に住んでいましたが、それ以外はずっと富山で暮らしています。人の喧噪に慣れていないので、大学時代はいつも帰りたくて、帰りたくて(笑)。休みにになったら、すぐ帰省していました。

## 富山のファンに対する思いを。

**城宝** 最初は、おとなしくて控えめな印象でしたが、勝ち試合が続くようになってからは、皆さん熱を入れて応援してくれるようになりました。声が大きくなり、表情も明るくなり、会場の一体感も増しましたね。僕らは、プレイによってお客さんが熱くなれる場を作りたい。それが勝ちにつながれば、お客さん一人ひとりに喜んでくれます。これからも、そういう瞬間を増やしていきたいです。



水戸健史選手 城宝匡史選手

**水戸** この前、花火大会の会場へ向かう途中、老夫婦から「水戸選手ですよ。頑張ってください」と声をかけられました。うれしかったですね。そういうことが増えてきたのも、Bリーグ入りして、ホームアリーナが富山市総合体育館に決まってからです。

## ホームが富山市ということで、富山市民の皆さんにメッセージを。

**城宝** 多くのお客さんに試合を見に来ていただければ、もっといいプレイをお見せできるようになります。それが勝ちにつながれば、さらに富山を盛り上げることができます。食や観光だけでなく、スポーツの面でも富山を広めていきたいです。そのためにも、皆さんにはもっと試合を見に来てほしいなと思っています！

右▶城宝匡史(じょうほうまさし)さん  
1982年生、北海道出身。  
富山グラウジーズのキャプテン。  
左▶水戸健史(みとたけし)さん  
1985年生、富山県出身。  
富山グラウジーズの主力選手。

**水戸** 私が子どもの頃は、プロの選手から教わる機会も、バスケットの試合を観戦することもほぼ皆無でした。でも、今はレベルの高い試合を間近で観戦でき、また、子ども向けのバスケット教室など、私たち選手も直接教えることができるようになりました。子ども達には、そういう機会を大事にしてほしいです。そして、富山出身の若手選手もいっぱいいますので、上手いプレイヤーが「富山に戻ってきたい」と思える強いチームになればいいですね。そのためにも優勝を目指して頑張ります！



この連載では、富山で活躍するさまざまな方の「アメイジング(驚くほど素敵)」な富山について掲載します。また、WEBサイトでは皆さんのアメイジングなエピソードも募集しています。

▶詳細は、「アメイジング トヤマ」で検索してください。



▲WEBサイト  
QRコード